

● 6月22日（金） 雨/曇/晴 福島県（川内村・浪江町・飯館村・南相馬市・相馬市・新地町）  
宮城県（山元町・亘理町）

・夜中から大雨になり雨音がすごい。

朝5時起床、外は大雨が降っている。気温は16℃と寒いのでジャンパーを着込んだ。

朝の支度と朝食を済ませて大雨の中、7時に道の駅「よつくら港」を出発して二日目の行動が始まった。

・海岸線を北上したいのだが、福島原発の放射能汚染で海岸線は通行止めになっているので、福島原発を回りこむように県道41号（小野四倉線）を西へ向かった。川前の県道287号でやっと北上を許され川内村へと入った。川内村は放射能汚染で立ち入り禁止区域だったがこの春禁止が解除され、3月24日に村役場も復帰して業務を再開した。なかなかきれいな役場だ。復興担当者とお会いして、写真メッセージをお渡しし激励してきた。ちょうど雨も上がり気持ちの良い朝になった。



復帰して業務を再開した川内村役場

・次に向かったのは浪江町で、ここは全村避難区域だが、ぜひ寄りたいところがある。朝日新聞「プロメテウスの罠」第10シリーズ「長安寺の遺骨」に掲載された津島の長安寺に行って横山周豊住職にぜひお会いしたい。ナビを便りに長安寺を目指したが、もうすぐ目の前というところで、道がバリケードで封鎖され警官に侵入を拒否された。



浪江町はバリケードを張って入れてくれない

・豊かな畑と緑の森が連なるのどかな良いところなのになぜ行くことができないのか！ 長安寺に電話をしてみると、横山住職がお出になって、現在福島市に避難されているとのこと。仕方なく浪江町を後にした。原発汚染の遺骨は長安寺に置き去りにされているのか！？



緑豊かなこの村になぜ入れないのか



この奥に長安寺がある

・原発放射能を避けて海岸線から遠く離れた 399 号線を北上、飯館村へ入った。原発の補助金で出来たのか立派な村役場や老人ホーム、その他箱物の公共施設が整然と建っていてなかなかきれいな村だ。



誰もいない立派な建物・村役場



パトロールのおばさん「怪しまれるよ！」

ところが村民はみんな村外へ避難していて誰もいない。防犯パトロールをしているおばちゃんに会った。今は仮設住宅に避難しているが、空家狙いの盗難があるのでパトロールしているとのこと。「あんたも怪しまれるから早く出た方がいいよ」と驚かされた。写真メッセージをお渡しし「頑張って！」と激励してから人が住まない閑散とした飯館村を後にした。

・県道 12 号線でやっと東へ向かうことが許され南相馬市へ向かった。南相馬市も南半分はまだ汚染地区で入ることが出来ない。市役所に寄ったら危機管理課のお姉さんが出てきて対応し大変喜んでくれた。12時を回ったのですぐそばにある道の駅「南相馬」へ寄った。海岸から離れているので幸い津波から免れ営業していて利用する車で満杯だった。道端の縁石に腰をおろして弁当を食べながらふと見ると、目の前に仮設住宅が何棟も建っていて仮設住宅村になっていた。中に入ってみたが皆さん住居に引きこもっているようで人影がなくシンと静まりかえっている。とても突然各戸の玄関を叩いて「お見舞いに来ました。頑張ってください。」などといえる雰囲気ではない。テレビでよく見る仮設住宅のお見舞い風景は事前によく連絡してから訪問しているものだとして認識させられた。村の入り口にある管理棟に寄ったら、ボランティアと思われる方々が3人ほど出てきたので、「お見舞いに来ました。皆さんに元気になるようお伝えください。」と写真メッセージをお渡ししたが、期待したほどのうれしそうなお返事はなかった。仮設住宅に1年以上も住まわされ、将来に明るい希望も持てない現状が、痛いほどひしひしと伝わってきた。我々がテレビで見せられている映像では、仮設住宅の皆さんがいかに元気づけられて明るく生活しているように移っているが、あれはテレビ局が事前によく計画し、要するに作られた映像であって現実はそのようなものではない、皆さんひっそりと息を詰めて我慢をして生活しているのだと感じ、やはり実際に現地の様子を見なければわからないと思った。この人たちの生活を早く何とかしてあげないと！



シンと静まりかえっている「仮設住宅集落」



・南相馬市の海岸へ行ってみた。そこには津波の爪痕が昨日起こったような形でその惨状を曝していた。すごい光景だ！ここでこの程度なのに、三陸海岸を北上するほど津波の被害が大きいということだから、これから先どんな光景が待っているのだろうか？ とにかくこの南相馬市の惨状を見てください。



草に覆われた土台だけが残っていて、瓦礫が山と積まれている広大な平野、無残に破壊された頑丈に出来ていたはずの防波堤、根こそぎ流された防砂林の松林。陸前高田市で有名になった「奇跡の一本松」と同じように根性で残っている松が愛おしい。

・国道6号線を北上して相馬市へ。14時半に相馬市役所に着いて写真メッセージを差し上げたら大変喜ばれ、いろいろな所へ配りたいというので、4枚置いてきた。



・そのあと新地町、山元町、巨理町と北上し今日の予定を終えた。巨理町役場はプレハブ平屋の仮庁舎、狭い敷地に小さなプレハブ小屋が並び、さらに増設するのか駐車場を作るのか、大型重機が庁舎の前でうなりをあげていて、何とも居心地の良くない役場で、そこで働く職員の方々が気の毒だった。



プレハブ小屋で仕事をする巨理町の町役場



・これで今日の予定を全部終了し今日の宿泊予定地の道の駅「村田」へ向かった。村田へ着いたのは5時を過ぎていた。被災地の見学とお見舞いという慣れない作業の連続で何しろ今日は疲れた。とにかく温泉につかりたい。近所にある谷山温泉に電話で確認すると「どうぞ!」。昨日は温泉にあり付けなかったのが久しぶりの温泉気分、ゆっくり疲れをいやすことが出来た。



道の駅「村田」

・明日は仙台のN君の家に寄る予定、久しぶりでお会いする。電話をして、明日の昼に寄って昼食をごちそうになりながら、積もる話をすることを約束しておいた。

・天気もすっかり回復して、明日の天気も良さそうだ。